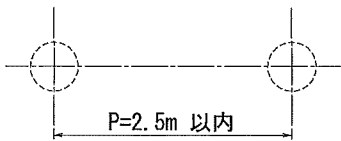


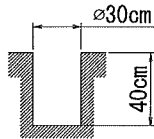
車止めポール・施工説明

(固定式・脱着式の場合)

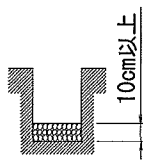
1. 墨出しをして、位置決めをして下さい。チェーン内蔵式ポールの場合、ピッチは2.5mが最適です。



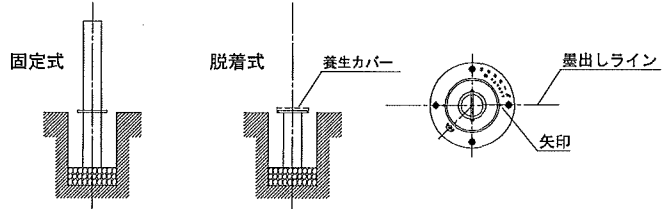
2. ポール設置場所に、直径30cm以上、深さ40cm以上の穴を掘ります。



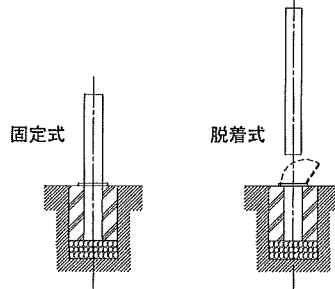
3. 穴の底に10cm以上の厚さで碎石を敷き、平坦にします。水はけと製品の沈下防止のため、必ず行って下さい。



4. ポール本体（脱着式の場合はシェル）を設置して下さい。シェルカバー上に矢印がある場合は、その矢印を墨出しラインに合わせます。それ以外の製品でも、平面方向や設置高さレベル、ポールの垂直度に注意し、慎重に位置を決定して下さい。尚、脱着式シェル付属の養生カバーは施工完了まで外さないで下さい。

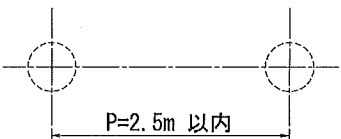


5. コンクリートで上部を固めます。その際、シェルカバーがコンクリートに埋まらないように注意して下さい。

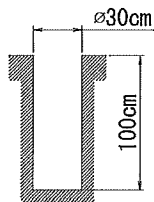


(埋没式の場合)

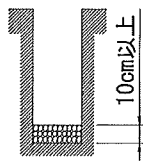
1. 墨出しをして、位置決めをして下さい。チェーン内蔵式ポールの場合、ピッチは2.5mが最適です。



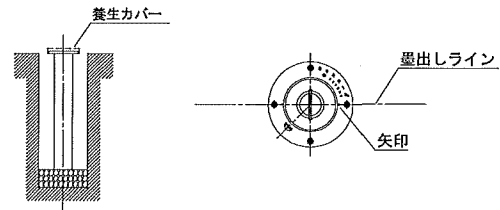
2. ポール設置場所に、直径30cm以上、深さ100cm以上の穴を掘ります。



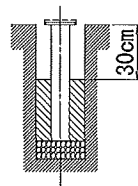
3. 穴の底に10cm以上の厚さで碎石を敷き、平坦にします。水はけと製品の沈下防止のため、必ず行って下さい。



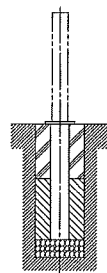
4. ポール本体を設置して下さい。シェルカバー上の矢印を墨出しラインに合わせます。その他、平面方向や設置高さレベル、ポールの垂直度に注意し、慎重に位置を決定して下さい。尚、付属の養生カバーは施工完了まで外さないで下さい。



5. G Lから30cmの深さまで埋め戻します。

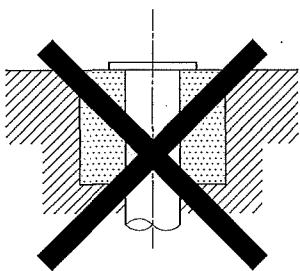


6. コンクリートで首部を固めます。その際、シェルカバーがコンクリートに埋まらないように注意して下さい。



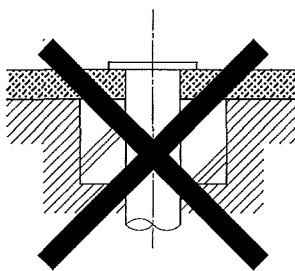
！ご注意 下記の施工は避けてください。※製品破損の原因となる場合があります。

モルタルでの基礎施工



必ず基礎はセメントに粗骨材（砂利）を混ぜたコンクリートで施工してください。
細骨剤（砂）のみのモルタルでの施工はしないでください。

アスファルトでの表層仕上



インターロッキングなどの表層仕上

